第５４回 室蘭地区バドミントン協会長杯

兼 第２１回 ゴーセン杯争奪バドミントン競技会（中学生の部）開催要項

１．主　　催　　　　室蘭地区バドミントン協会

２．主　　管　　　　室蘭地区バドミントン協会　伊達市バドミントン協会

３．後　　援　　　　株式会社ゴーセン

４．日　　程　　　　令和２年　２月 　８日（土） ８：００　開場　　　８：３０　監督会議

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　８：５０　開会式　　９：１０　競技開始　男女：単

　　　　　　　　　　　　　　　　　 １１日（火） ８：００　開場　　　９：１０　競技開始　男女：（単）複

５．競技会場　　　　　８日（土）伊達市総合体育館　　〒052-0012 伊達市松ヶ枝町３４－１

　　　　　　　　　　１１日（火）**室蘭市立東明中学校**　〒050-0072 室蘭市高砂町４丁目９－１**〔変更〕**

**室蘭市立高砂小学校**　〒050-0072 室蘭市高砂町１丁目２９－１**〔変更〕**

６．競技種目　　　　個人戦　男女　単・複　各１～３部　　　計１２種目

　　　　 　　１部：①今年度，個人戦で西胆振大会ベスト４以上の入賞歴を持つ選手

②全道大会に出場及び全道新人戦大会の出場権を得た選手

（中体連全道，全日本ｼﾞｭﾆｱ南北海道予選，北海道中学新人）

　　　　　　　　　　　２部：少年団登録を含め，競技歴１年以上の選手

　　　３部：バドミントン競技歴が１年未満の選手

７．参加制限　　（１）同一選手が単複の２種目に出場することができる。

（２）基本的には，同一選手は単・複で同じ部にエントリーする。ただし，上位の部へエントリーは可能とする。

（３）ダブルスのペアにおいてシングルスの部が異なる場合は，上位ランクの選手に合わせてダブルスの部にエントリーする。その際，ダブルスのペアは，異なるシングルスのランクにエントリーすることができる。

（４）シングルスの出場枠は，１部から３部まで合わせて男女各７名までのエントリーとする。さらに，男女それぞれ部員数が１０名を超えた場合には１名，以降５人増える毎に１名ずつのエントリーを増やすことができる。

|  |  |
| --- | --- |
| 部員人数 | エントリー可能人数 |
| ０～９人 | ７人まで |
| １０～１４人 | ８人まで |
| １５～１９人 | ９人まで |
| ２０～２４人 | １０人まで |
| ２５～２９人 | １１人まで |

７．競技規則　　　　２０１９年度（公財）日本バドミントン協会競技規則，大会運営規程ならびに公認審判員規程による。

８．競技方法　　（１）トーナメント方式で行い，３位決定戦は行わない。

（２）参加人数に応じて，競技役員協議の上，得点制限を行うことがある。

９．使用用器具　　　２０１９年度（公財）日本バドミントン協会検定合格球（水鳥球）および検定合格用器具を使用する。

１０．参加資格　　（１）２０１９年度（公財）日本バドミントン協会登録済みの中学１･２年生。および，義務教育学校の７・８年生。

（２）西胆振地区内の中学校に在籍する生徒で，当該学校長が出場を認めた生徒とする。

（３）複については，同一学校内でのペアとする。

（４）参加者は，開催要項に掲げる個人情報の取扱について了承するものとする。

１１．参 加 料　　（１）個人戦　一人一種目につき，１，０００円

（２）大会参加料は，大会当日の朝，受付で学校毎に一括で納入すること。

１２．参加申込　　　　所定の書式に入力し，サイボウズまたは下記のアドレスにメールで申し込むこと。

締め切り　　令和２年１月１７日（金）１６：００までに

送信先E-mail ： badmuroran@gmail.com （室蘭地区バドミントン協会）

１３．表　　彰　　　　各種目３位まで賞状を授与する。

１４．組 合 せ　　　　主管協会担当役員が立ち会いのもとシード法により行う。

　 　日 程 ：　令和２年１月２４日（金） １８：３０～

会　　場 ：　室蘭市立翔陽中学校　１F　PTA室

１５．そ の 他

（１） 競技の服装は（公財）日本バドミントン協会審査合格品を着用し，背面中央部には縦15ｃｍ，横30ｃｍの範囲内に校名及び姓の表示をし，四隅を留める。なお，同姓の場合は名前の一部を小さく入れること。黒又は紺の日本文字（楷書）で明記する。

（２）原則，試合の敗者は次の試合の審判をすること。

（３）大会参加者の氏名・所属・学年は，大会運営上必要なプログラム・ホームページへ掲載するために使用する。

（４）大会成績は，室蘭地区バドミントン協会ホームページの掲載と報道機関に提供するために利用する。

（５）競技については，１日目は男女単から行うこととする。２日目は参加人数によって男女単の続きを行うことがある。